

【事前質問へのご回答】

西岡 真一郎氏 (小金井の未来をつくる会)

質問1. 待機児童をいつまでに、どうやって解消しますか？

回答1

平成29年度までに、認可・認証保育所等の拡充によって、待機児童を解消します。

現在、市も平成29年度に待機児童はゼロになるとしていますが、保育ニーズの見通しが甘く、このままでは実現できないと考えています。

このため、認可保育所の増加に努めるとともに、共働きニーズに合致した認証保育所や小規模保育所等の拡充が必要です。特に0歳～2歳児対策を強化します。また、保育ニーズを調査し、中長期的な保育計画を市民参加で策定します。さらに保育の質を高めることや保育園間の連携づくり、保育士さん等の保育園職員の処遇改善策にも取り組めます。

質問2. 認可と認証の保育料に大きな格差がある現状をどう思いますか？

回答2

現状では、認可保育所と認証保育所では、保育料に倍近い格差があります。しかも、第2子・第3子では、認証保育所ではさらに負担が重くなります。これは民間保育所の現場で事務長を務めてきた経験からも切実であると感じています。

少子化対策としても、安心して第2子・第3子を生み育てられる保育環境の整備が必要であり、格差を解消し、施設に関わらずほぼ同じ負担で利用できる対策を早急に確立する必要があると考えています。

質問3. 病児・病後児保育、一時保育、障がい児保育など多様なニーズにどう対応しますか？

回答3

病後児保育は1所で実施されていますが、拡充が必要です。特に、実施されていない病児保育は、アンケート調査でも高いニーズがあり、共働き・子育て支援として早急な実現が不可欠であると考えています。認可保育園において着実に病児保育が実施できるよう、支援体制も含めて構築していきます。また、一時保育・障がい児保育についても、将来予測を行い、ニーズをしっかりと把握して保育計画に盛り込み、計画的な実現をはかります。